

# 同 志 社 大 学

## 2013 年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2014 年 2 月 3 日提出

所 属	職 名	氏 名
グローバル・コミュニケーション学部	准教授	寺西隆弘
研 究 題 目	メタファー（隠喩）による概念形成：脱身体化の潜在性	
研 究 成 果 の 概 要	<p>上半期に予定していた、RUB SOMEONE'S MIND（気を揉む）から RESTLESS へのメタファー拡張に関する①日英語に共通した連想および各語に特有の連想の分析、②日英語に共通したイメージおよび各語に特有のイメージの分析、③日英語に共通したメタファー拡張のパターンおよび各語に特有のメタファー拡張のパターンの想定、④上記①、②、③の関連性の検討、については終了した。2012 年度までの研究（脱身体化に関する研究）と併せ、下記著書及び口頭発表にて成果を発表した。</p> <p>下半期は、BREAK SOMEONE'S HEART（悲嘆にくれさせる）に関するイメージの拡張をより具体的に捉えていく為、脱身体化をメタファー研究の中心に据え、文献整理及び調査を行った。</p> <p>（著書（共著）） 2013/03 <i>Kyoto Working Papers in English and General Linguistics 2</i>（開拓社）家口美智子他編、pp.301-313 2013/09 認知言語学論考 No.11（ひつじ書房）山梨正明他編、pp.199-229</p> <p>（口頭発表） 2013/09 “Metaphorical understanding and abduction: the meaning of “straight”” (1st International Conference on Linguistics, Literature, &amp; Cultural Studies in Modern Languages, Universidad Católica San Antonio, Spain)</p>	